

令和4年度
小学校教育課程編成の手引
【外国語活動編】

外国語活動における
1人1台端末を活用した
「個別最適な学びと協働的な学び」

北海道教育委員会

外国語活動における1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」 (小・中学校)

1 単元の概要

学 年：第3学年

単 元 名：「学習した表現を使って、クイズ大会をしよう。」5時間扱い

単元の目標：自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞きとることができるとともに、目の前の物が何かを質問したり、質問に答えたりすることができる。

2 事例におけるICT活用のポイント

- ・発表資料の協働での制作や発表の場面において端末を活用することにより、児童の学習意欲を高め、主体的に学習に取り組む態度を育成するとともに、端末を活用した絵等の言語外情報を用いて会話を継続するなど、言語活動の充実を図ることができます。

3 使用したソフトや機能

- ・学習支援ソフトのアンケート機能
- ・プレゼンテーションソフト

【参考資料】

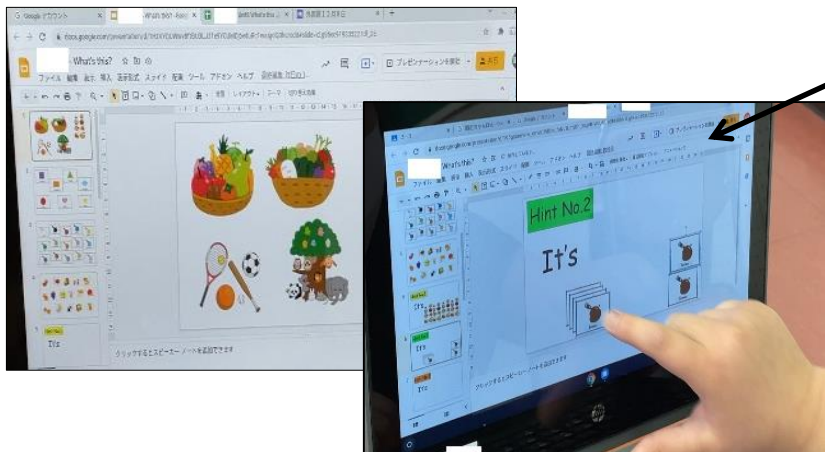
- ・事例に関する学習指導案



外国語活動における1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」 (小・中学校)

4 1人1台端末の活用例

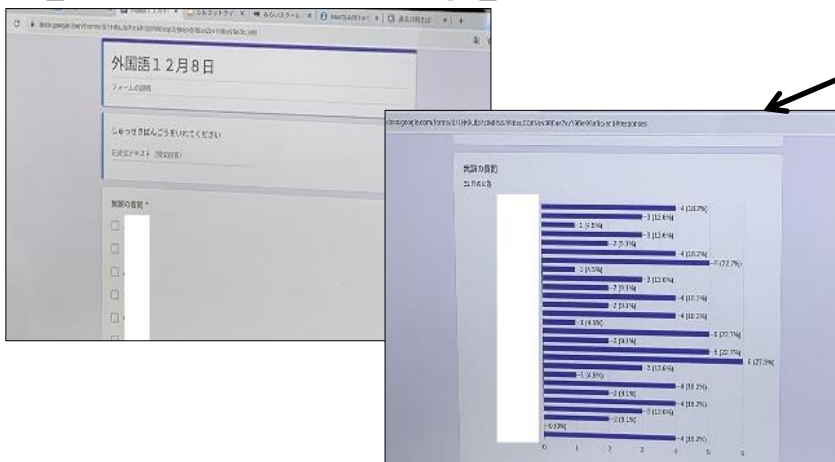
【ICTの活用場面①】



〔資料を提示する〕

- ・クイズ作りの場面において、これまで学習した果物や動物等の絵及びクイズの型を端末内に用意することにより、児童が友だちに伝えたい物を選び、容易にクイズを作成することができます。
- ・クイズを出し合う際、児童が端末で絵を見せ合うことにより、英語による会話が苦手な児童が、言語外情報を伴いながら会話を継続することができます。

【ICTの活用場面②】



〔振り返りの場面で活用する〕

- ・クイズによるやり取りをする際、アンケート機能を活用し、やり取りをした相手の名前をチェックすることにより、友だちと伝え合うことへの意欲を高めることができます。
- ・振り返りの際、児童が誰とどんなやり取りをしたかを確認できるとともに、実際のやり取りの状況と合わせ、主体的に学習に取り組む態度における評価の記録として生かすことができます。

外国語活動における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

①録音及び録画機能の活用

録音や録画機能を用いることにより、発表・練習するなどの学習過程が可視化され、児童が個別に学習を進めることができます。

学習支援ソフトを用いることにより、撮影や作成したファイルの共有を行うことができます。



②端末を活用した交流

ウェブ会議ソフトを用いることにより、学校間の交流や小・小連携等、距離の離れた場をつないだ学習や、他者との意見共有や比較・検討、共同制作など、双方向のやり取りを行うことができます。



【参考資料】

・GIGAスクール構想のもとでの
小学校外国語活動・外国語科の
指導について（文部科学省）



・StuDX Style
各教科等における1人1台端末の活用
各教科等での活用〔小学校 外国語活動、外国語科〕
（文部科学省）

